

2008年4月17日  
MR/J12/08



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212  
Fax: +81-3-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

メディア用原稿  
非公式記録

## 国際生物多様性の日シンポジウム 2008 — 農業・里山・食を通じて考える生物多様性 —

- イベント:** 国際生物多様性の日シンポジウム 2008— 農業・里山・食を通じて考える生物多様性—  
**テーマ:** 「農業・里山・食を通じて考える生物多様性」  
**日時:** 2008年5月22日(木) 午後2時～午後5時30分  
**場所:** 国連大学本部ビル(渋谷区)  
**主催:** 国連大学、国連大学高等研究所、地球環境パートナーシッププラザ、環境省、農林水産省  
**後援:** 国連食糧農業機関日本事務所、国際熱帯木材機関、国連環境計画国際環境技術センター、国連広報センター、WFP 国連世界食糧計画日本事務所

### 背景

- 毎年5月22日は国連が定めた「国際生物多様性の日」であり、生物多様性問題の普及と啓発を目的として世界各地で生物多様性に関連するイベントが開催されている。2008年のテーマは「生物多様性と農業」。
- 農産物はさまざまな生き物との繋がりの中で育っており、農産物の生産を支えるものとして生物多様性は重要。また、農業は生物多様性の保全に大きく貢献するものであり、生物多様性に配慮した農業のあり方が求められている。
- 国連大学においては、国連大学高等研究所が「日本における里山・里海のサブグローバル評価」を進めており、その成果が、地域や国の計画や戦略を強化するために利用されることが期待されている。
- 2010年に予定されている生物多様条約第10回締約国会議(COP10)を愛知県名古屋市で開催すべく日本が立候補している。2010年は、「生物多様性条約の締約国は、この年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させるとの目標(2010年目標)」の年であり、国連の「国際生物多様性年」でもある。

### 本シンポジウムについて

#### • プログラム概要

オープニング アハメド・ジョグラフィ生物多様性条約事務局長ビデオメッセージ  
基調講演 堂本暁子 千葉県知事「農業・里山・生物多様性への地域の取り組み(仮題)」  
パネルディスカッション: 「農業・里山・食を通じて考える生物多様性」

- 宇根豊 農と自然の研究所
- 佐々木陽悦 みちのく田んぼの学校エコファーム佐々木農場
- 谷川潔 国連大学高等研究所
- 原耕造 田んぼの生きもの調査プロジェクト
- 本間航介 新潟大学農学部 (50音順)

#### • 言語: 日本語

- 参加を希望される方は5月19日(月)までに、ウェブサイト <http://www.unu.edu/reg/ibd/> よりご登録いただくか、氏名、所属、連絡先を明記の上、国連大学の岡田までFAX(03-3499-2828)にて要事前申し込み。
- 取材をご希望される報道関係の方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。(電話:03-5467-1311、Eメール:media@unu.edu)

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。